



西野正人

ハッキリ言います! 市政にひとこと!



連絡先/〒191-0011 日野市日野本町6-9-1 TEL 042-582-4381/FAX 042-582-2866

HP: <http://www.nishino1.com/> E-mail: nishino@eco.ocn.ne.jp

平成 29 年度一般会計決算！景気回復の影響を受け市税が増加

平成 30 年第 3 回定例会（9 月議会）は、9 月 3 日より 28 日まで開催されました。平成 30 年度一般会計予算の補正・特別会計予算の補正は賛成多数で可決され、平成 29 年度一般会計決算・平成 29 年度特別会計決算においても賛成多数で認定されました。平成 29 年度一般会計決算は、歳入 662 億 6,788 万円 歳出 633 億 2,811 万円 歳入歳出差引額 29 億 3,976 万円の黒字となりました。

歳入においては、国内景気の緩やかな回復を受け、**市税が 306 億 5,050 万円となり、6 億 9,334 万円の増（前年比 2.3%増）**となりました。そのうち**個人市民税では 130 億 8,542 万円となり、1 億 3,955 万円の増、法人市民税も一部大手企業の収益拡大などにより 25 億 5,582 万円となり、5 億 1,891 万円の増**となりました。

歳出においては、前年と比べ約 3 億 5,710 万円の減（0.6%減）となり、主な要因は基金への積み立てが減少したためです。しかし、民生費が高齢化の進展や民間保育園開設への支援、生活保護費等の扶助費増大で前年比 18 億 6,540 万円の増（6.4%増）、311 億 3,229 万円となりました。

また、**経常収支比率が 89.9%と前年比 4.0 ポイント改善**しました。改善の理由は、社会保障費の増加にもかかわらずそれを上回る市税や臨時財政対策債等の増加です。今回、法人市民税も増加しましたので、景気回復の恩恵かと思えます。

会計	区分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	決算差引残額	繰越額	実質収支額
一	般 会 計	656.8 億	662.6 億	633.2 億	29.3 億	1.7 億	27.6 億
特 別 会 計	国民健康保険	190.9 億	193.0 億	188.0 億	4.9 億	0	4.9 億
	土地区画整理事業	39.4 億	37.1 億	34.5 億	2.6 億	1.1 億	1.5 億
	下水道事業	49.1 億	47.7 億	46.9 億	0.7 億	0	0.7 億
	介護保険	131.2 億	129.1 億	127.8 億	1.2 億	0	1.2 億
	後期高齢者医療	40.7 億	41.4 億	40.6 億	0.8 億	0	0.8 億
	合 計	451.5 億	448.5 億	437.9 億	10.5 億	1.1 億	9.4 億
総 合 計		1108.4 億	1111.2 億	1071.2 億	39.9 億	2.8 億	37.0 億

※単位は億円、1 千万未満の単位は切り捨てて表示してあります

平成 30 年度
一般会計補正予算

補正予算における注目事業をご紹介します！

■ 子育て支援 — 民間保育園開設助成事業

11 億 2,399.5 万円

(仮称) わらべ日野市役所東保育園
日野市神明 1-13 定員 152 人(仮称) よつぎ日野保育園
日野市日野 1367 定員 143 人(仮称) 子どもの森あさかわ保育園
日野市万願寺 5-3 定員 120 人

■ 新市営火葬場候補地 — 程久保 5 丁目重点まちづくり計画調査業務他 399.5 万円

新市営火葬場の候補地でもある、程久保 5 丁目地域の皆様の意見をふまえて重点地区まちづくり計画を策定します。

■ シティセールス — 市内タクシーラッピング事業

156.6 万円

昨年 5 月に鳥取市へ伺い、鳥取市の PR キャラクター「すご！ウサギ」をデザインしたラッピングタクシーの活用状況を行政視察させて頂き、日野市にも観光振興の一助とすべきと提言してきましたが、今回の補正予算で予算化されました。



平成 29 年度の主な施策を紹介します！

平成 29 年度には多くの成果をあげていますが、これまで長年取り組んで来た「公契約条例」が制定されました、また、旭が丘地区センターが建て替えられ地域の新たな交流の拠点としてスタートしました。そして待機児解消のための保育園の追加整備でも 3 園が新たに開設されました。詳しくは市政報告 No.13 にも掲載されていますので、ホームページからバックナンバーをご参照下さい。今号ではその他の主な施策の成果をご報告します。

■ 新可燃ごみ処理施設の建設準備・周辺環境整備 — 北川原公園整備が完成



新可燃ごみ処理施設建設に伴い、他市からのごみ搬入が発生するため、近隣住民の皆様のご要望に応え、これまでの浅川ルートからの搬入を多摩川ルートへ変更するための専用道路整備を行いました。またこれと併せて搬入路の北側の北川原公園整備も行いました。この公園には、スポーツ広場(バスケットゴールを設置)、芝生広場、多目的広場(屋根付き・かまどベンチを設置)、防災シェルター、遊具広場、トイレ、駐輪場、駐車場が整備されており、市民の憩いの場や防災拠点として活用されます。

■ 実践女子学園グラウンドの一部に「市民グラウンド」を整備



これまで市民に活用されてきた「万願寺グラウンド」が平成 29 年度末に返還されましたので、その代わりとなるグラウンドを学校法人実践女子学園との連携協定に基づき、実践女子学園グラウンドの一部(日野市役所東側)を市が無償で借り上げさせて頂き、少年野球やソフトボールグラウンドとして整備しました。

■ 日野市役所本庁舎の免震化・長寿命化計画の推進



平成 19 年 12 月議会の一般質問にて「本庁舎の耐震診断をすべきだ」と指摘してから早くも 10 年余が経過しましたが、今年の 1 月から免震化の工事が始まりしました。高層棟の地下駐車場の下に免震装置を設置し、低層棟には耐震補強壁を 4 カ所設置します。平成 32 年 6 月の下旬完了を予定しています。また、この免震工事により本庁舎が長寿命化するため、これに対応すべく、トイレ改修、給排水衛生設備改修、空気調和設備改修、非常用発電機増設の設計業務を行いました。

■ 多摩平の森 A 街区における医療拠点の整備 — 医師会館の移転



多摩平の森 A 街区に健康・医療・介護に関連する民間事業者を集約し、包括的・集中的な体制をつくり、医療機関等の間での緊密な連携を図るべく整備をすすめています。その一環として、医師会館を移転し、日野市休日準夜診療所も新医師会館 1 階に移転開設しました。また、同街区の多摩平の森病院が地域連携型認知症疾患医療センターとして東京都に選定されたことを受けて、同病院と連携・協力し「認知症初期集中支援チーム」と「医療連携型認知症カフェ」を整備しました。

■ 子供の貧困対策事業を展開 — 学習支援、家賃助成、シンポジウムの開催

生活困窮世帯の子供に対して、学習支援、居場所支援を行う実施拠点となる施設「ほっとも」を新たに 1 か所追加し、市内 4 か所としました。学習支援では、高校進学に向けた支援、居場所支援では生活習慣の改善、コミュニケーション能力の向上に向けた支援等を行いました。

また、平成 28 年度に策定した「子どもの貧困対策に関する基本方針」に基づいて、児童扶養手当受給中で、賃貸住宅に居住し、高校生がいる世帯に対して毎月の家賃の一部を助成しました。また、市民の理解を深めるためにシンポジウムを開催(会場:七生公会堂 参加者:約 250 人)しました。

